

お茶とお菓子を楽しみながら、リラックスして学ぶ知的カフェ

1億度に プラズマを 加熱する

— 太陽を地上に —

未来の エネルギー

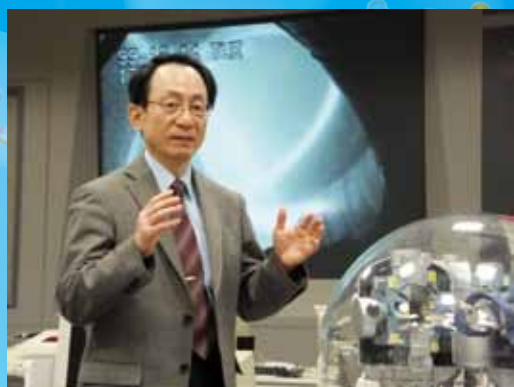
核融合発電の
実現をめざす取り組みを
わかりやすくお話しします

宇宙の目に見える物質の99%以上はプラズマでできています。
そして、太陽や星のエネルギーの源はすべて核融合反応です。
この核融合エネルギーを地上で実現できれば、人類は1万年以上にわたって、
環境に負荷をかけないエネルギーを確保することができます。
このいわば地上の太陽を実現するためには、
プラズマを閉じ込めて、1億度以上に加熱しなければなりません。
今回は、プラズマをどのようにして閉じ込めて加熱するのか、
そして、エネルギーをどのようにして取り出すのかについてお話しします。

《講師より》



【大型ヘリカル装置の真空容器内部】
超伝導磁石を用いて、
この空間に高温のプラズマを閉じ込める



大型ヘリカル装置のプラズマの画像(背後)と
大型ヘリカル装置の模型(右下)

講師：竹入康彦 Yasuhiko Takeiri
総合研究大学院大学教授
自然科学研究機構核融合科学研究所教授

講師プロフィール

工学博士(京都大学)。核融合を実現するために、
いかにしてプラズマの性能を上げるかに取り組んで
いる。特に、粒子ビームを用いたプラズマ加熱を
専門としている。

2012年6月23日[土]

午後2時～4時

湘南国際村センター 第2研修室(葉山町)

定 員：40名(先着順)

参 加 費：一般 650円(高校生以下無料)
ソフトドリンク・お菓子付き

応募受付期間：5月10日(木)～6月7日(木)

お申込み・お問い合わせ

(公財)かながわ国際交流財団湘南国際村学術研究センター
担当：小松・清水

Email: academia@kif.ac

FAX: 046-858-1210 TEL: 046-855-1822

主催：国立大学法人総合研究大学院大学
公益財団法人かながわ国際交流財団

後援：葉山町